

令和元年6月17日現在

機関番号：12604
 研究種目：基盤研究(C)（一般）
 研究期間：2015～2018
 課題番号：15K04484
 研究課題名（和文）特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究

研究課題名（英文）Basic research on the development of instructional content and instruction method for fostering social qualities by extracurricular activities

研究代表者
 林 尚示（HAYASHI, Masami）
 東京学芸大学・教育学部・准教授

研究者番号：10322124
 交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究を実施した。ここでの特別活動とは、特に小学校を対象とした。小学校の特別活動は学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事で構成される。この中で、特に計画的、系統的に社会的資質の育成が可能な学級活動に絞って研究をした。

特別活動で社会的資質を育成するための基礎をなす国連が進めている人権教育について調査をした。人権教育との関連を意識して各自治体の指導資料を収集分析した。その後、東京都の小金井市立小金井第二小学校の学級活動を事例として社会的資質の育成状況を測定した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで抽象的な議論の中で語られがちであった社会的資質について、本研究では具体的な事例からアプローチした。東京都の小金井市立小金井第二小学校にご協力いただき、特別活動の学級活動で具体的な授業と社会的資質の育成状況を把握することができた。

従来は児童の変化は意識調査で測られることが多かった。しかし、今回の研究によって、満足度、意識の変容、行動の変容、学校の目標からみた達成度といった4つの視点から総合的に評価することができた。このことは、より客観性のある授業研究の確立という学術的意義や、具体的な学校の教育の適正な評価と言った社会的意義につながる。

研究成果の概要（英文）：We aimed to foster social qualities through extracurricular activities. We conducted research on the development of instruction content and instruction method for that purpose. The extracurricular activities here were especially targeted at elementary schools. The extracurricular activities of the elementary school consist of class activities, children's association activities, club activities and school events. Among them, we focused our research on class activities that are capable of fostering social qualities in a planned and systematic manner. We surveyed the human rights education being promoted by the United Nations, which forms the basis for fostering social qualities through extracurricular activities in Japan. After that, the case of the class activities of Koganei 2nd Elementary School in Koganei City, Tokyo was taken as an example to measure the development situation of social qualities.

研究分野：特別活動

キーワード：特別活動 社会的資質 学級活動 小金井第二小学校 人権教育 評価

1. 研究開始当初の背景

いじめ、暴力行為、不登校、児童生徒の自殺など、社会性の欠如に起因する学校教育の病理的な状況が継続している。そのため、国内の研究動向では、近年、社会性の育成よりも生徒指導上の諸問題の対策が重視されている。しかし、学校の教師が対応する方法を研究するのではなくスクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーなどを児童生徒問題の専門家と称して指導を任せてしまうといった方向がみえる。これらの状況に対して、本研究は学校の教師が児童生徒の問題行動を未然に防ぐという役割を重視する。

海外の研究では、社会性の育成よりも教科の学力に関心が高い。そして英語、母国語、数学、理科、社会などの教科教育に関心が高い。その結果、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事などは研究の対象に含まれていない。学級活動・ホームルーム活動も数少ない。本研究は日本で研究としてはこれからでも教育実践としては長期の歴史を持つ特別活動の研究を通して日本型教育システムの特徴である教科以外の学習領域としての特別活動を世界に普及啓発していく役割を持っている。

林らはこれまで教員養成大学で特別活動の歴史や効果を検証してきた。その結果、特別活動の指導内容と指導方法の研究の推進が人類の直面する様々な困難な状況を解決するために有効であるとの結論に至った。具体的には、「人権教育世界プログラム」(World Programme for Human Rights Education)を採択した国連総会(General Assembly)も学校の生徒会活動の規模拡大版とみることができる。しかし、特別活動の指導内容と指導方法の研究はこれまでほとんど顧みられてこなかった。そのため、研究発展させる内容として、特別活動の指導内容と指導方法を選択することが、未来の世界の学校教育にとって最善であると考えた。

2. 研究の目的

「特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究」では、特別活動を活用して、国連の人権教育(Human Rights Education)を基盤として、児童生徒の社会的資質(コミュニケーション能力)を育成するための指導内容と指導方法を明らかにすることを目的とする。特別活動は学級活動・ホームルーム活動、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の内容によって構成されている。これらは、ともに社会的資質の形成のために学校で実施されているはずであるが、現在の学校教育では十分にその意味が理解されていない。一方で、社会的資質の育成はグローバル化の渦中にある世界の中で児童生徒が将来にわたって平和で安全な環境の中で生活していくためには必要不可欠である。

3. 研究の方法

国連の人権教育世界プログラム(World Programme for Human Rights Education)を基盤として、日本の特別活動の教育活動としての意味を検討し、指導内容と指導方法を開発し、実証研究を行う。平成28年度は理論研究、平成29年度は開発研究を実施する。理論研究では、日本の学校で行われている特別活動を観察し、一般的な説明ができるように事実認識の大枠を定める。開発研究では、研究の方法の開発を行い、調査、計測、推定などの改善を図り、事実認識の手続きを改良する。実証研究では、指導内容と指導方法を実施して現象や事実の説明をし、事実認識を確かなものにする。

4. 研究成果

(1) 人権教育の教材を活用した特別活動によって社会的資質の育成を図ることができる。具体的には、東京都、埼玉県、さいたま市、神奈川県、川崎市の人権教育の教材には、特別活動との関連を図って実施するものが多い。学習指導要領に示された特別活動の内容との関連で見れば、東京都は生活づくり、埼玉県は社会の一員としての自覚と責任、望ましい人間関係の確立、自他の理解、男女相互の理解が合わせて9事例、さいたま市は社会の一員としての自覚、川崎市は望ましい人間関係の形成、自己及び他者の個性の理解と尊重の3事例の活動型の教材がある(林・安井・鈴木, 2018)。

(2) アメリカ・ボストンにあるセンター・フォー・カリキュラムデザイン(CCR)の21世紀型教育の資質・能力との関連では、人権教育にはキャラクター(人間性)に該当する内容が十分に含まれていることがわかる。たとえば、東京都の事例、さいたま市の事例、埼玉県の9事例のうち7事例、川崎市の事例はキャラクターとの関連事例である(林他, 2018)。

(3) 特別活動で社会的な資質を育成するために、生徒指導の機能との関連に留意することができる。たとえば東京都の事例では「いじめ」、さいたま市の事例では「インターネット・携帯電話」といった生徒指導の個別課題への対応が教材の中に織り込まれている(林他, 2018)。

(4) 日本の教育の特徴である特別活動で育成される社会的資質と OECD Education 2030 における社会的資質・能力には、共通点を見いだすことができ、日本の特別活動で OECD Education 2030 における社会的資質・能力を育成することができる。ただし、日本の特別活動で Education 2030 の資質・能力を育成する場合、その内容には軽重があるので、その点を意識して内容構成を行う必要がある(林・安井・鈴木, 2017b)。

(5) 日本国内の具体的な事例から、特別活動では生徒指導の機能を伴って社会的資質の育成が図られている。小学校、中学校、義務教育学校の特別活動の教育実践から、1) 人格尊重・社会的資質型、2) 個性伸張・社会的資質型、3) 行動力・社会的資質型の指導方法のタイプを確認することができる(林他, 2017b)。

(6) 特別活動と道徳教育は、「児童生徒が人間としてのよりよい生き方を考え、実現させる活動」としての共通の基盤を有している。特別活動においては、「よりよい生活づくり」を通して道徳教育の機能が実現される。特に、異年齢集団による縦割り活動が道徳教育として有効である(林他, 2017b)。

(7) 新学習指導要領の中でも社会的資質の育成が継続して重視されていることが明らかとなった(林・安井・鈴木, 2016b)。

(8) 新学習指導要領で重視される社会的資質を育成する指導方法モデルを有効に機能させるためには、特に振り返り段階の工夫が重要であることが明らかとなった(林他, 2016b)。

(9) 振り返り段階では、行動変容等をもとめる継続的な評価シートの活用等が必要であることが明らかとなった(林他, 2016b)。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 5 件)

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究(3)
- 学級活動を事例として -

Basic Research on Development of Teaching Contents and Instruction Method to Foster Social Qualities by Extraclass Activities (3): Case Study of Classroom Activities

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

東京学芸大学紀要 総合教育科学系169 2018 69 -79 査読なし

Bulletin of Tokyo Gakugei University Division of Comprehensive Educational Science I, 69 69 -79 [http://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/148852/1/18804306_69_05.pdf]

特別活動で社会的資質を育成するための教育課程と教育方法の検討

Curriculum and Teaching Methods in Order to Develop the Social Competencies in Extraclass Activities

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

教育実践学研究 20 2017a 59 -72 査読有

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究(2)
- 生徒指導及び道徳教育の機能に着目して -

Basic Research about Development of the Contents of Instruction and the Teaching Method for Raising Social Qualities by Extraclass Activities (2): Focusing on the Function of Student Guidance and Moral Education

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

東京学芸大学紀要 総合教育科学系168 2017b 47 -59 査読なし

Bulletin of Tokyo Gakugei University Division of Comprehensive Educational Science I, 68 47 -59 [http://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/146934/1/18804306_68_05.pdf]

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究 :
東京学芸大学附属竹早小学校の学級活動の分析を通して

Basic research about development of the instructional contents and the teaching method for improving social competencies by extraclass activities : Lesson analysis of class activity in the Tokyo Gakugei University attached Takehaya Elementary School

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

教育実践学研究 19 2016a 115 -127 査読有

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究(1)

Basic research about development of the contents of instruction and the teaching method for raising social quality by extraclass activities(1)

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

東京学芸大学紀要 総合教育科学系167 2016b 43-53 査読なし

Bulletin of Tokyo Gakugei University Division of Comprehensive Educational Science I, 67 43 -53 [http://ir.u-gakugei.ac.jp/bitstream/2309/144588/1/18804306_67_05.pdf]

〔学会発表〕(計 3件)

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究(3)

—学級活動を事例として—

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

日本特別活動学会第26回東海大会研究発表要旨集録, 51, 2017年

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究(2)

—生徒指導及び道德教育との関連に着目して—

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

日本特別活動学会第25回大会研究発表要旨集録, 21, 2016年

特別活動で社会的資質を育成するための指導内容と指導方法の開発に関する基礎研究

林尚示, 安井一郎, 鈴木樹

研究発表要旨集録, 48, 2015年

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年:

国内外の別:

○取得状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名: 安井 一郎

ローマ字氏名: YASUI, Ichiro

所属研究機関名: 獨協大学

部局名: 国際教養学部

職名: 教授

研究者番号(8桁): 80200492

研究分担者氏名: 鈴木 樹

ローマ字氏名：SUZUKI, Tatsuki

所属研究機関名：鎌倉女子大学

部局名：教育学部

職名：教授

研究者番号(8桁)：00410027

(2)研究協力者

研究協力者氏名：眞壁 玲子

ローマ字氏名：MAKABE, Reiko